

練二通信

No. 369

平成 29 年 12 月
練馬第二小学校
校長 大槻 亨

心を一つに、笑顔・感動・輝きを

校長 大槻 亨

十一月二十四・二十五日と実施しました学芸会には、多くの保護者・地域の皆様にお越しいただき、子供たちへの惜しみない拍手を送っていただきました。心より感謝申し上げます。子供たちは、三週間以上も前から休み時間も惜しまずに練習を積み重ねてきました。本番では、その力を十分に発揮できたと思っております。

表題の「心を一つに、笑顔・感動・輝きを」は、学芸会のスローガンです。このスローガンのとおり、学芸会当日は子供たちの笑顔・感動・輝きが見られたと思います。九月末の運動会に続き、学芸会という大きな行事を通して、子供たちの確実な成長を保護者や地域の皆様と確かめ合えることができたのではないかと思います。

スローガンの「心を一つに」は、運動会や音楽会など、これまでの大きな行事で毎年のように使われてきた言葉です。それだけ、子供たちにとって大切にしたいものなのでしょう。学年を

問わず、皆が仲のよい練二小の子供たちにはびつたりの言葉だと思えます。

では、学芸会を通して心が一つになるためには、どんなことが必要でしょうか。私は「共感すること」が大切だと思います。「共感すること」とは、相手の立場になって感じたり考えたりすることであり、他者の気持ちを推し量る想像力といえます。劇の登場人物(動物)は、舞台の上で困難に遭遇します。しかし、勇気を振り絞って立ち向かい、困難を乗り越えていきます。そこには、必ず支えてくれる仲間がいます。子供たちは、劇を演じることでそれらの登場人物(動物)に共感します。劇を見ている子供も同じように共感するので、ときには自分の価値観との相違点を見いだしながら共感することもあるでしょう。互いの感じ方や考え方を尊重し、互いの価値観の共通点や相違点について認め合い、違いを相手のよさとして受容する心は、共感することから育まれていきます。子供たちにそう

いった豊かな心が育まれるとき、皆の心は一つになることができるのだと思います。

学芸会翌週の児童朝会で私は、「学芸会で皆が心を一つにして劇を作りあげた素晴らしい経験をこれから大切にしていって、クラスで心を一つにして、素敵なクラスをつくっていきましょう」という話をしました。学芸会で学んだことをこれからの生活に生かしていけるよう、保護者の皆様と協力して指導に努めていきたいと思っております。

桜の木の伐採について

今年度、練馬区が公共施設の樹木を精密診断するという事で、本校の樹木も検査を受けました。樹木医が個々の樹木の状態や立地状況等を考慮し、診断を行った結果、腐朽空洞率が50%を超えるなどの倒木の危険が高い桜の木が2本発見されました。正門脇の桜と校庭東側のバタフライガーデンに一番近い桜です。非常に残念なことです。倒木の危険があると指摘された以上は、伐採せざるを得ません。2本の桜は十二月以降に伐採される予定です。正門脇の桜については、伐採後今年度中に新たに植樹できるよう、教育委員会に要請しています。皆様にはご理解いただけるようお願い申し上げます。

十二月の行事予定

- 4 (月) 委員会活動
- 5 (火) 連合音楽鑑賞教室 (六年)
- 6 (水) 午前授業・研究授業 (四年一組)
- 8 (金) 五時間授業 (二、六年)
- 10 (土) もちつき大会
- 14 (木) 避難訓練・五時間授業
- 15 (金) 社会科見学 (四年)
- 17 (日) 練馬区小学校音楽祭
- 18 (月) おはなしの会 (一、二年)
- 19 (火) 福祉園交流会 (四年)・クラブ活動
- 21 (木) お話の会 (三、四年)
- 23 (金) なわとび指導・なわとび月間終
- 25 (月) 天皇誕生日
- 26 (火) 終業式・五時間授業・給食終
- 26 (火) 冬季休業日始



★今月の生活目標

- ・ みんなで使うものを大切にしよう。

★週の生活目標

- ・ 遊び道具など使ったものの後始末をきちんとする。
- ・ そろじや給食の後始末をきちんとする。

ユニセフ募金について

特別活動主任 重白 裕美

今年度もユニセフ期間を実施します。今年度は十二月六日(水)に、代表委員会によるユニセフ集会を行います。世界には、困っている子供たちがたくさんいることに目を向け、発表の準備を進めています。ストーリーチルドレンの実態や紛争に苦しめられる子供たちを知ることは、小学生の子供たちにとって重いテーマです。しかし、今までよりも広い視野で、自分にできることを考えるよい機会になると思います。

十二月七日(木)と十二月八日(金)の朝の時間に中央昇降口と東昇降口で募金活動を行います。また、子供たちは各学級で、ビデオ教材やリーフレットからユニセフの活動や様々な国の状況について学びます。ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

異学年交流

特別活動部 佐藤 由記子

いろいろな学年の友達と仲良くなれるように、練二小では様々な取組をしています。週二回練二タイムの時間には「なかよしタイム」として、兄弟学級と一緒に遊ぶ会を子供たちが企画して遊んでいます。例えば、五年生が二年生にどんな遊びをしたいかアンケートを取り、司会からルール説明まで全て考えました。二年生の遊びだった「ドッジボール」と「だるまさんの一

日」をしました。

他にも、ランチルームで一緒に給食を食べる「なかよし給食」では、交流を通して話しが弾む姿が見られました。十一月の土曜公開では、五年生が同じ軽井沢へ行く三年生を招待し、移動教室について教える交流をしました。三年生も、お兄さん、お姉さんの話を集中して聞いていました。その他にも、学芸会後は、きょうだい学年が手紙の交換をし、感想を伝え合いました。

これからは異学年交流を通して、心豊かな児童を育てていきたいと思えます。

冬休みを迎えるにあたって

生活指導主任 神谷 文子

子供たちが楽しみにしている冬休みが近付いています。安全に、また有意義に過ごしていただきたいと思えます。

① 家族の一員としての自覚

お手伝いをさせましょう。お正月等の挨拶をしっかりとさせましょう。

② 規則正しい生活

早寝・早起き、手洗い等に努め、健康に過ごせるようにさせましょう。

③ お金の使い方

お年玉などお金を手にすることが多い時期です。トラブルに巻き込まれないよう、また計画的な使い方ができるような気を付けさせましょう。

④ 交通安全

特に自転車飛び出しによる事故には、十分気を付けさせてください。

後日配布する「冬休みの生活について」も参照し、楽しい冬休みを過ごすようにご協力をお願いします。

学芸会を終えて

学芸的行事部 下釜 みどり

学芸会には、多くの方々にご参観いただきありがとうございました。本番では素晴らしい演技を披露した子供たちですが、最初は声も動きも小さい子がほとんどでした。でも、一人一人が自分の役に向き合い、何度も練習を重ねることで、どんどん表情や表現が変わっていくのです。日々、成長を感じられる学芸会。そんな学芸会が私は大好きです。

舞台での表現は総合芸術だと思っています。四・五・六年生は練二小での学芸会はこれでおしまいです。演技だけでなく、照明や音響、合奏などの役割でも活躍し、自分たちの力で作品を作り上げていきました。台本をよく読み込み、自分たちで伝えたいことをよく考え精一杯表現したことや、力を合わせて成し遂げた経験は、子供たちの自信となったことでしょう。また、それぞれの学年が他学年の演技を見て感動する姿に、心も豊かに成長したことを確信しました。このように素敵な学芸会を作り上げた練二小の子供たちに、もう一度拍手を送りたいです。

担任及び算数少人数担当交代のお知らせ

三年二組担任の佐藤由記子教諭が十二月六日より妊娠出産休暇に入ります。つきましては、算数少人数指導担当の北野智也教諭が三年二組の担任に入ります。算数少人数担当は講師の赤石由美教諭が着任いたします。ご協力をよろしくお願いいたします。


